



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：
担当者の所属・氏名 臨床研修部 山田 千聖
(代理)

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修医 山田 千聖

【指導医】

聖路加国際病院 感染症科 渋谷 晃子

出産前後に血液培養検査を受けられた方に関する研究

1. 研究の対象

2004年4月から2023年4月までに当院にて出産前後に血液培養検査を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

母体敗血症は妊娠中や分娩後、産褥期に発生し得る重篤な感染症となり、依然として妊産婦の重症罹患の重要な要因となっています。今回の研究では周産期妊婦で血液培養検査陽性となった方の背景や敗血症を来しやすい要因、周産期の敗血症が与える影響などを検討し、今後の周産期妊婦の敗血症診断の定義を見直し、当院における培養採用基準を検討することを目的としております。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年8月7日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

- ・患者背景（ID、性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴）
- ・一般検査（血液検査、血液生化学検査、尿検査など）
- ・血液培養検査の情報
- ・周産期の情報（妊娠回数、無痛分娩の有無、分娩時間、不妊治療の有無など）